

平和学習

歴史文化的活動

D-1-(1)-①

活動の概要	<p>1945年の沖縄戦において、慶良間諸島で痛ましい出来事があった。米軍は、沖縄本島上陸作戦として、まず、慶良間諸島に砲爆撃を行い上陸した。日本軍と住民は、米軍に追われて山の中に逃げ込んだ。パニック状態に陥った人々は、逃げ場を失い、北端の西山に追い込まれた。そこで、悲惨な「集団自決」が起こった。</p> <p>家族親戚が身を寄せ合い、あらかじめ配られた手榴弾の栓を抜き爆死を試みた。しかし、前日からの豪雨で発火しなかった。そのことが逆に、この世のものとは思えない凄惨な光景を生んでしまった。鎌、鍬、カミソリ、あるいは縄を使い、身内同士の殺し合いが始まり、自ら生命を絶っていった。</p> <p>戦没者の御霊は、白玉之塔に祭られている。</p>
用具	<p>・筆記用具 ・メモ用紙</p>
参考資料	<p>・『渡嘉敷村史』第5章 ・環境プログラム開発『渡嘉敷島の自然と歴史』資料編</p>
活動場所	<p>講義・講演・・・本館講堂・研修室等 現地学習・・・集団自決跡地（東展望台途中左側） 日本軍本部司令部壕跡地（つつじ棟裏塀の外側） 白玉之塔（本所より港向け左側）</p>
活動形態	<p>講義・講演による学習および現地学習（集団自決跡地・日本軍本部司令部壕跡・白玉之塔）において、集団自決の背景、平和への祈り、命の尊厳等の学習に適する。</p>
活動上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画を立てる場合は、担当職員と相談する。 ・現地は神聖な場所なので、軽はずみな行動は慎む。 ・道が狭く急勾配の場所もあるので、行き来には気をつける。 ・草むらや危険な場所には入らない。 <p>*講師を依頼する場合は、有料となる。</p>